

## 船通山ササユリは早過ぎた！

6/17 県北山の会《緑風6月号》の記事を参考に、船通山鳥上ルート（島根県側）にササユリを訪ねて行ってみた。山頂手前から固い蕾のササユリが多く現れた。（ロープで保護されている）一週間程度早過ぎた！残念。しかし鳥肌が立つ出会いがあった。登山道沿いの木の橋を渡る手前の朽木が多くあるところにショウキランの群生があった。



ウツギ



ウワバミソウの花



ヤマアジサイ



コアジサイ



ミズタビラコ



ホウチャクソウ

整備された登山道沿いに多くの花が咲いている。図鑑では夏の花と紹介されている花が多くなった。花が終わった、ツクバネソウやエンレイソウが見られる。ミズと呼ばれて山菜として古くから利用されてきたウワバミソウの群生が続く。これも花をつけ始めた。ヤマアジサイとコアジサイは谷の暗い所では固い蕾だが、日が当たることでは終わりそうだ。ウリノキが多くあるのに驚いた。ミズタビラコは溪流に沿って花が続く。登山口から20分程、野鳥観察をしながらゆっくり登ると木製のしっかりとした橋が見える。その手前の大きな樹の下の足元に、ショウキランの群生を見つける。既に終わりかけているがまだ十分美しい！



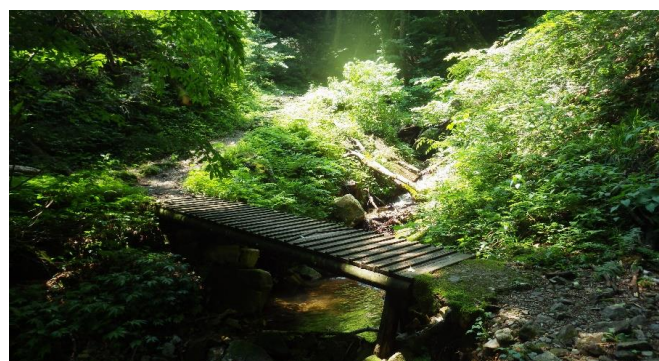
ホウチャクソウ



ヤブデマリ



タツナミソウ



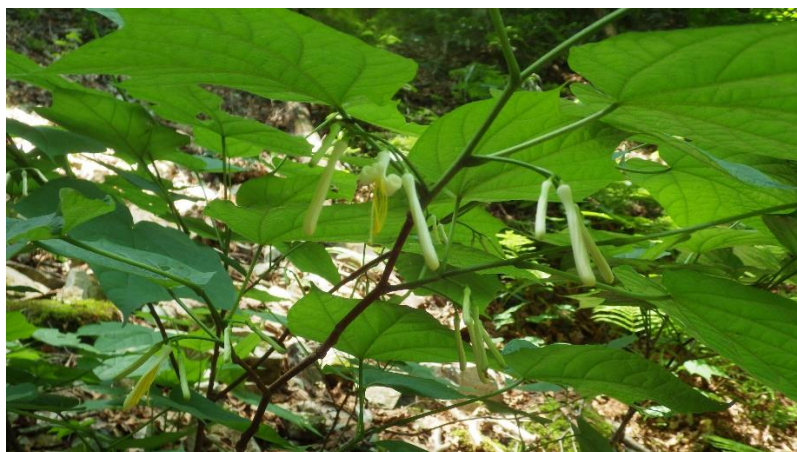
木の橋



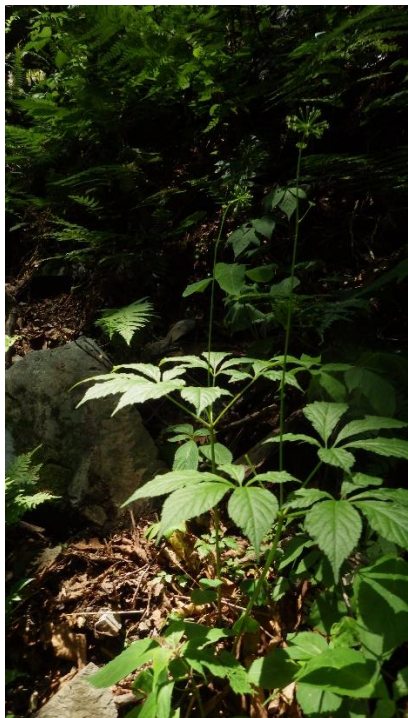
ショウキラン



鳥上滝



ウリノキ



トチバニンジン



ヤグルマソウ



ハンショウツル



オオナルコユリ

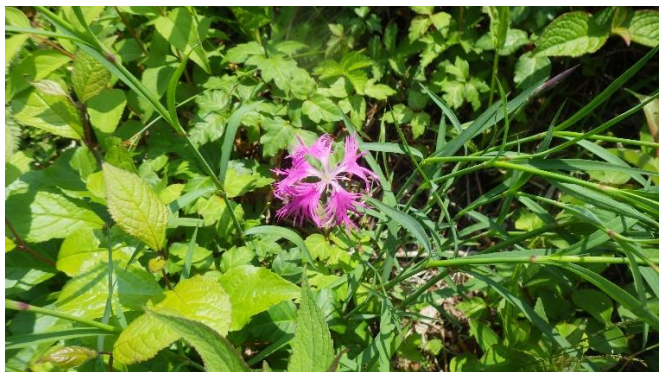


アマドコロ



ササユリの蕾

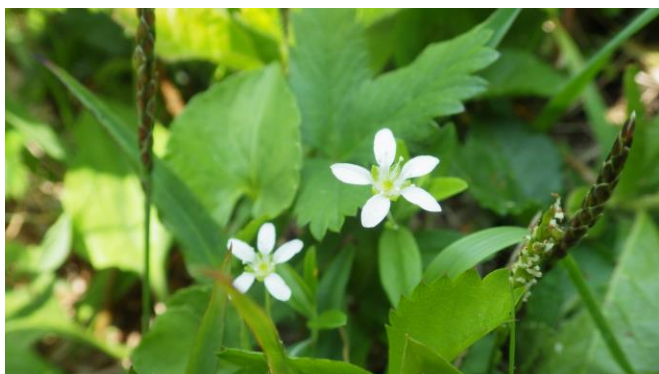
白いロープに沿って、ササユリが続く。登る時は見えなかったが、目が慣れるとクマザサと見分けられるようになり、意外と多く見つけられた。2輪ほどは2日後の開花と思われたが後は固い蕾だった。山頂はノアザミが多く咲いている。カワラナデシコが夏を思わせる。目立たないが、草丈10cmほどの白い花オオヤマフスマが草原に埋もれるように咲いていた。



カワラナデシコ



ノアザミ



オオヤマフスマ



フユイチゴ



サワフタギ



山頂の祠

船通山は春のカタクリがあまりにも有名で、いつも広島県側から登っていました。  
別ルートから登ると新しい出会いがあり、思わぬ植物に出会います。  
モミジイチゴは近畿以北に分布と、図鑑で紹介されていますが、1株見つけました。



これは何の種でしょうか？

白い花はチダケサシの仲間ですが、広島県版図鑑ではアカショウマと紹介しています。

安佐岳友クラブ 大藤